File.04

トラックや建設機械、作業員等のリアルタイム稼働状況管理 による工事の効率化と状況変化へのスピーディな対応を実現

株式会社川畑建設

http://www.kawabata-k.co.jp/html/

ICT(情報通信技術)の活用により施工の効率化と高精度化、それを担う ICT 人材の育成にチャレンジする会社です。

■業種:建設業 ■従業員:20人 ■資本金:25,000千円

●目的・課題

建設工事におけるダンプトラックの運行計画や建設機械の稼働計 画は、現場状況や一般道路の状況変化など適正な工事施行を図る 上での変動要因が多く存在する。

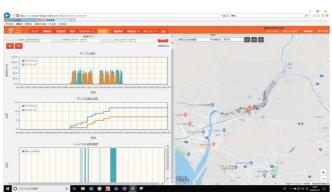
loT 等導入の概要

スマートフォンなどのモバイル端末を活用した、IoT 施工ソ リューションを導入し、スマートフォンやタブレットを使って、 建設機械や作業員、ダンプトラックの位置、進捗状況などをリ アルタイムで把握を行った。

● IoT 導入の効果

・ダンプトラックの運行状況をリアルタイムに把握することで、 運行と誘導員配置の最適化を実現した。本社と施工現場がリ アルタイムに情報共有することで渋滞、一方通行、一般車両 優先、地元クレームなどの状況変化へのスピーディな対応も 可能になった。

- ・本社で全ての工事現場の施工状況が把握でき、施工現場と本 社を繋ぐことで状況把握や問題点の共有などが 容易となり、 従来のミーティングや会議に比べ会社全体で施工を行ってい る意識が形成されるようになった。
- ・IoT活用工事、ICT 建機導入に積極的に取り組むことでノウハ ウの蓄積、人材育成を図っている。



ダンプトラックの運行管理をリアルタイムに把握

工夫した点

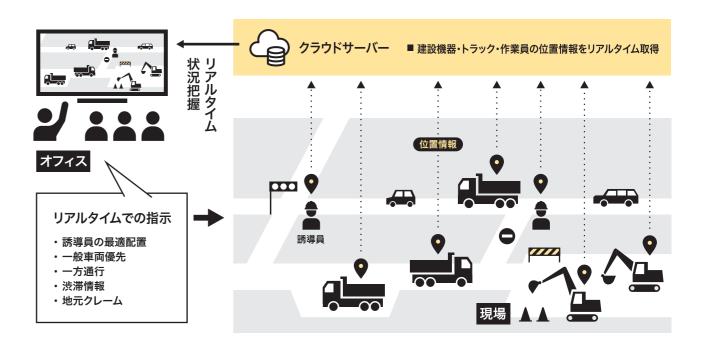
- コストメリットがなければやめる「トライ&エラー」で使える IoT 技術は積極的に使う方針ですすめた。
- 機器やサービス導入に際しては業者提案を鵜呑みにせず、複数の提 案を比較検討するよう心掛けた。



今後の 展開

他の IoT 施工ソリューションも積極的に導入して生産性を向上し、従来の建設業のイメージである『3K』 からの脱却を行い、優秀な人材の確保につなげていく。従来の建設業では馴染みの少ない IoT の導入を積 極的に行うためクラウドや 3DCAD の技術者の育成も並行して行い、建設従事者の IoT、ICT スキルの向上 を会社全体で行っていく。

3K ……「きつい」「きたない」「危険」の頭文字をとり、労働環境が良くないとされる職場を意味する言葉



IoT 等導入ロードマップ

